

## 簡易評価型プロポーザル提案書評価要領

(長岡戦災資料館資料展示室および館内におけるデジタルコンテンツ等展示設計業務委託)

### 1 目的

この要領は、簡易評価型プロポーザル方式により委託事業者を決定する場合における提案書の評価方法について、必要な事項を定めることを目的とする。

### 2 事業者の選考

- (1) 提案書の評価及び事業者の選考は、選考委員会を設置して行う。
- (2) 選考委員会の委員は別に定め、庶務課が庶務を行う。
- (3) 選考委員会は、提案書の提出者かつプレゼンテーションの参加者の中から、最も優秀と認められる事業者1者を選考する。

### 3 選考方法

- (1) 提案書の記述が要件を満たしていない者は特定しないこととする。
- (2) 提案書の記述項目及びプレゼンテーションの内容に関して、選考評価基準を基に各委員が採点する。
- (3) 各委員の評価点を平均して算出したもの（少数第2位を四捨五入）を参加者の評価点とし、評価点の最も高い事業者を最優秀者として決定する。評価点と同点となった場合は、各委員による選考投票で過半数を占めた参加者を最優秀者として決定する。1回目の投票で過半数を占めた参加者がいない場合は、最多得票数の参加者と次点の参加者で決選投票を行い決定する。
- (4) 提出された提案書が1件であった場合については、プレゼンテーション及びヒアリングをした後、選考委員会において、審査、評価の上、協議し、適切と認めたときは、優秀な提案者として選考する。

#### 4 選考評価基準

評価項目	評価基準	配点	
実施体制に対する評価	・業務履行に十分な体制である。	10	
提案書の内容	【提案テーマ①】 次の世代へ長岡空襲の史実と平和への思いを伝えていくための展示の考え方や手法	・長岡戦災資料館が果たすべき役割を踏まえ、公正・中立的な視点で考えた展示内容になっているか。 ・長岡戦災資料館展示基本計画に沿った展示の考え方になっているか。 ・施設の機能や役割に適した展示手法になっているか。	20
	【提案テーマ②】 「4(4)参考資料1:長岡戦災資料館展示基本計画」を基にした、展示室の配置の工夫	・来場者の動線の確保、工夫がなされているか。 ・学校等の団体の平和学習でも利用しやすい配置となっているか。 ・空間の特性に考慮した配置となっているか。	30
	【提案テーマ③】 「4(4)参考資料1:長岡戦災資料館展示基本計画」を基にした、訴求力があり、記憶に残る展示の工夫	・県内唯一の大規模戦災都市である長岡市の空襲からの復興の歴史をしっかりと伝え、先人たちの平和への思いを感じることができる展示空間となっているか。 ・長岡空襲を自分事として捉えるための工夫がなされているか(体験型防空壕、遺影検索システム等の有効的な活用)。 ・7つのテーマ構成を効果的かつ印象的に見せる工夫がなされているか。	30
	【提案テーマ④】 維持管理、ランニングコスト抑制および資料の劣化防止の工夫	・資料の劣化を防止するとともに、維持管理しやすい工夫がなされているか。 ・ランニングコスト抑制の工夫がなされているか。	20
	表現力	・質問に対する応答が明快で的確である。 ・提案書及びプレゼンテーションのまとめ方が明快で的確である。	10
	費用見積り	・予定金額を超えている場合は特定しない。	数値化しない
	評価得点の合計		120